教科目名　校外実習　(Factory Training)

学科名・学年　：　制御情報工学科　4 年　（教育プログラム　第１学年　○科目）
単位数など　：　選択　1 単位
担当教員　：　４年学級担任

授業の概要

学校では学習できない企業現場での就業体験を通して，専門分野での自分の知識を確かめ，さらに発展させるとともに，本科における勉学の目的を明確にし，将来の自分の進路を決める際の一助とするものである．また，「企業が要求する技術者像とは何か」をこの実習を通して学び，それを今後の学習に生かし，社会人，職業人としての基本的な心構えを学ぶ．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(D2)**

(1)　専門分野での自分の知識を確かめ，さらにそれ発展させることができる．（報告書，報告会）
(2)　企業が要求する技術者とは何かを学び、その心構えができる．（報告書，報告会）
(3)　研修先の人たちの指導や協力を仰ぎながら，問題を解決する手段や方法を学ぶ．（報告書，報告会）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
5 月	1.　ガイダンス	○クラス担任によるガイダンスの実施．	【理解の度合い】
5～7 月	2.　実習先の決定	○クラス担任を通して実習先に申し込む．	
夏季休暇中	3.　実習	○実習期間は一週間以上とする．	
9 月	4.　報告書の提出	○「校外実習報告書」をまとめクラス担任に提出する．	
9 月	5.　実習報告会	○実習の内容や成果について発表する．	

履修上の注意	・校外実習の詳細については，学生便覧「大分工業高等専門学校における校外実習，課題学修および特別学修に関する細則」を参照． ・実習先企業の厚意で，実習を受け入れて頂いているので，迷惑をかけることのないように注意する． ・実習終了後に礼状を書く．	【総合達成度】
教科書		
参考図書		
関連科目	実務実習（専攻科）	
総合評価	達成目標(1)～(3)について，実習先機関からの「校外実習証明書」と本人の「校外実習報告書」の提出を条件に，実習報告会の発表点（態度 25%，内容 25%，プレゼンテーション資料 25%，質疑応答 25%）で評価する．60 点以上を合格とする．	【総合評価】　　点